

「令和6年度学会発表助成」募集要項

1. 趣旨

対人援助の専門職は、日々、科学的根拠に基づいた質の高い実践を行わなければなりません。保育士・保育教諭等の保育専門職は、この“実践”を一層高めていくために、常に子どもとその保護者の視点に立ち、自己評価を続けるとともに日々の実践を対外的に示し、他者から評価を受け、これを通して最善の方策を学ぶ必要があります。

保育の質が問われている今、保育専門職として自ら研究し、全体で保育の質を高めあい、「保育実践の理論化と、その理論に基づくさらなる実践の向上、またそれを理論化していく」という一連の流れを形成していくことが求められます。

そこで、会員の自主的研究を支援するため、子ども家庭福祉に係るさまざまな学会において発表し、保育専門職の質向上に貢献する会員に対し、学会発表に関する経費の一部を助成します。

2. 助成対象者

全国保育士会会員（個人やグループ、または都道府県・指定都市保育士会等組織）であり、保育士等保育に従事した実務経験が5年以上ある者（共同研究の場合に、会員以外のメンバーが参画することは差し支えありませんが、申請者〔代表者〕は会員に限ります）

3. 助成要件

下記【必須要件】を満たすとともに、【選択要件】2つのうち、1つを満たすこと。

【必須要件】

保育・子育て支援・子ども家庭福祉に関する研究（実践）を、日本保育学会をはじめとする保育・医療・福祉などの学会（4 ページ「子ども家庭福祉に係る学会」）での発表を完了していること。

※助成申請年度より3年以内の発表であること（今回の募集では、令和4年度以降の発表）

※各学会における発表の条件は、学会のホームページ等を確認のこと



【選択要件（1）】

全国保育士会研究大会「特別分科会」での発表を完了していること。

※申請の条件

- 必須要件と選択要件は、同一テーマ・内容の発表に限る
- テーマが変われば何度でも申請可
- 助成申請年度より 3年以内の発表 であること

【選択要件（2）】

全国保育士会『主任保育士・主幹保育教諭特別講座』（平成26年度までの主任保育士特別講座含む）修了生が、それぞれの所属の都道府県・指定都市保育士会（保育協議会）組織における発表機会において、修了論文内容の発表を完了していること。

※申請の条件

- 当該講座の修了論文である旨を発表資料に明記していること
- 必須要件と選択要件は、同一テーマ・内容の発表に限らない（ただし、いずれの発表も「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」を修了した後の発表であること）
- 【選択要件（2）】での申請は1回まで

4. 募集期間 令和 6 年 4 月 1 日（月）～令和 6 年 12 月 31 日（火）

※令和 6 年 12 月 31 日（火）までに上記の助成要件を満たした方の申請を受け付けます。

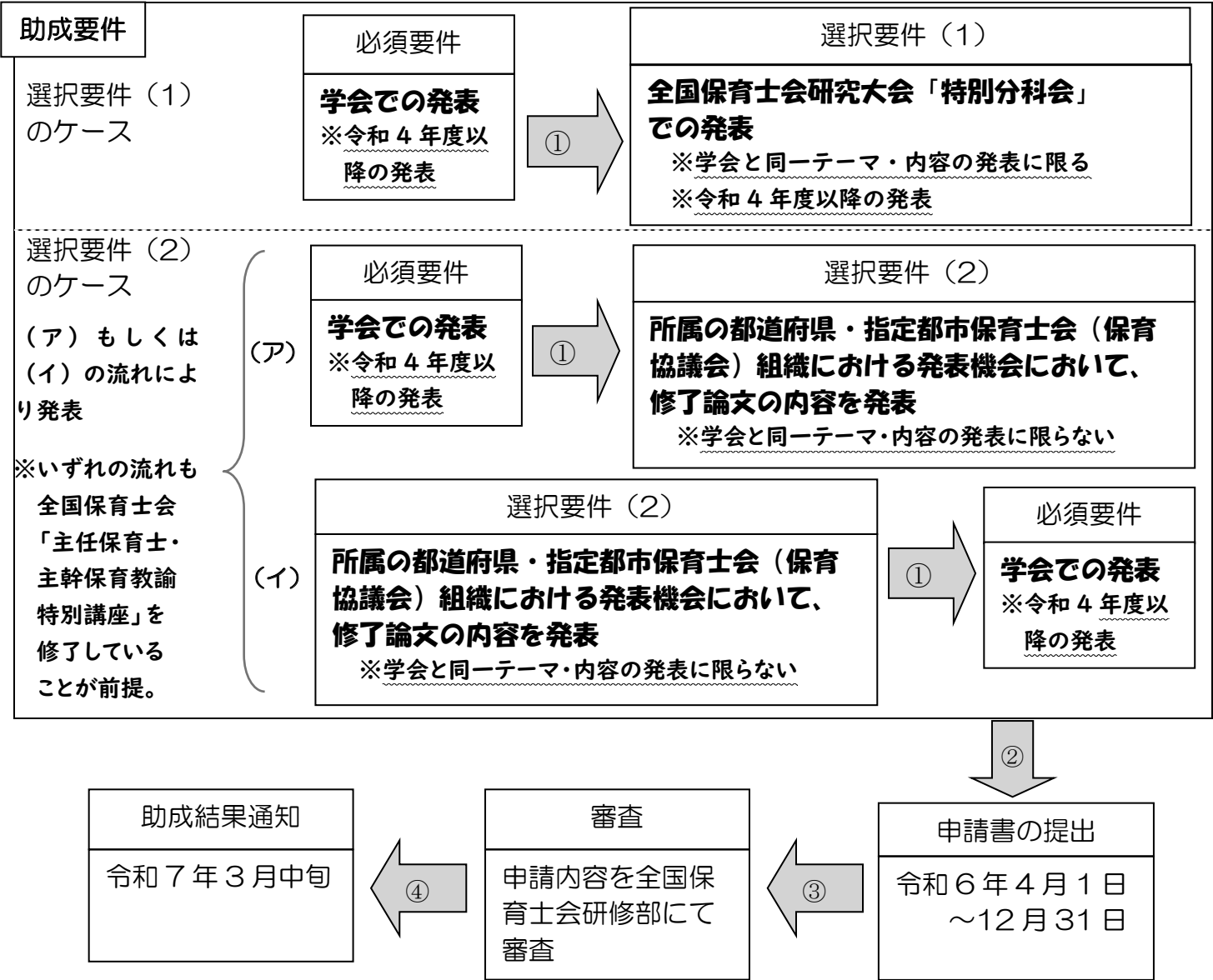
5. 助成額 1 件あたり 50,000 円

6. 助成時期 ご指定の口座に令和 7 年 3 月 28 日（金）に振込予定

7. 申請方法および審査について

- 募集期間中に、別紙「令和 6 年度学会発表助成申請書」に記入のうえ、発表したことを証明できる資料（発表レジュメ等）とともに全国保育士会にご郵送ください。
- 申請内容を全国保育士会研修部にて審査のうえ、令和 7 年 3 月中旬頃に結果をご連絡いたします。

【助成決定までのフローチャート（一例）】



【学会で発表したことがある方の声】

これまでに口頭発表やポスター発表を
経験していますが、保育のなかのもう少し深めて
考えたい部分を、園内研修で継続して皆で考え合い、
大学の先生を交えアドバイスをいただきながら、
さらに研究を深め発表をしています。
学会での発表を取り入れたことで、園内にも保育を
科学的に考察するという文化が生まれ、
楽しさにつながっています。

まずは参加するだけでも
お勧めです！！

学会は、自分の興味・関心がある
保育分野にたくさん出会え、学べる場所、
まるで保育研究のお祭りというような
雰囲気です。

【発表方法の例】 ※日本保育学会「研究発表要綱」参考

- ポスター発表 実践研究内容をポスターにまとめ、会場にポスターを掲示し、座長や参加者からの質問に答えながら自由に討論を深めます。
- 口頭発表 実践研究内容を発表し、質疑応答を行います。すべての発表を終了した後、座長の進行で討論を深めます。

8. お問い合わせ、書類提出先について

全国保育士会事務局（^{むぎた} 麥田、^{しもだて} 下立）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
全国社会福祉協議会 児童福祉部内
TEL. 03-3581-6503 / FAX. 03-3581-6509
E-mail hoikushikai@shakyo.or.jp

子ども家庭福祉に係る学会

日本保育学会	https://jsrecce.jp/
日本子ども家庭福祉学会	https://www.jscfw.info/
こども環境学会	https://www.children-env.org/
日本子ども社会学会	https://www.js-cs.jp/
日本子ども学会	https://kodomogakkai.jp/
日本子ども虐待防止学会	https://jaspcan.org/
日本トラウマティック・ストレス学会	https://www.jstss.org/
日本家族社会学会	www.jsfs-family sociology.org/
日本社会福祉学会	https://www.jssw.jp/
日本地域福祉学会	jracd.jp/
日本保育保健協議会	https://nhhk.net/society/
日本小児保健協会	https://www.jschild.or.jp/
日本医療保育学会	https://iryouhoiku.jp/
日本夜尿症・尿失禁学会	https://www.p-forest.co.jp/jsei/
日本教育学会	www.jera.jp/
日本乳幼児教育学会	www.jseyc.org/
日本赤ちゃん学会	https://www2.jsbs.gr.jp/
国際幼児教育学会	www.iaece.org/
日本発達心理学会	https://www.jsdp.jp/
日本発達障害学会	https://www.jasdd.org/
日本発達障害支援システム学会	https://www.jasssdd.org/
日本 LD 学会	https://www.jald.or.jp/
日本自閉症スペクトラム学会	https://www.autistic-spectrum.jp/
日本コミュニケーション障害学会	www.jacd-web.org/
障害学会	www.jsds.org/
日本音楽教育学会	https://日本音楽教育学会.com/
日本福祉教育・ボランティア学習学会	https://jaass.jp/
日本保育者養成教育学会	www.h-yousei-edu.jp/
こども家族早期発達支援学会	https://kodomokazoku.org/